



長崎市立矢上小学校 学校だより 『笑顔が花咲く矢上小』

合い言葉「よく学び よく遊べ」

令和6年7月5日

NO. 14

校長 白水 聡

家族・交流証言者講話



かつては被爆体験講話という取組だったのですが、被爆者の高齢化に伴い、近年は上記のように変わってきています。全校児童に加えて、たくさんの保護者の方々に永井徳三郎館長のお話を聞いていただいたことは、教育週間をしめくくる有意義な取組であったと感じています。機会があればぜひ、永井隆記念館に訪れたり、「長崎の鐘」を聞かせてあげたりしてほしいと思います。

「小さな平和をつないでいくこと」

「如己愛人(己のごとく人を愛せよ)」

心に留めておきたい言葉をいただきました。

お見送りの途中で、「もう終わりですか？という子供の声聞こえてきて嬉しかったです。みんな静かに聞いてくれて感心しました。」と話されました。優しくて温かい方だなあと感じました。

「はじめての水泳」(1年生)

7月3日は、雨も上がり蒸し暑い一日でした。この日、1年生は小学校のプールで、初めての水泳の学習をしました。

笛の約束やプールサイドを走ってはいけないことなど、事前に安全指導を十分に行ったあと、水に入りました。

ちょっと不安そうな子もいましたが、自由時間には笑顔いっぱい楽しそうでした。絶好のプール日和でした。

回数も少ない水泳なので、くれぐれも忘れ物をしないことと体調を整えておくことをお願いしたいです。

また次回が楽しみですね！



「研究授業」



本校は子供たちの学力向上に向けて授業改善に取り組み、「できた！わかった！の笑顔あふれる授業」をめざします。

7月4日には、研究主任の梶山先生の学級で研究授業を行い、先生方も授業を参観しました。算数の単元「たし算とひき算の筆算」でした。左の写真のように、みんな真剣に

「302-175」の筆算の仕方を考えています。

「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざし、自力解決をさせたあと、ペア→班→全体という流れで考えを交流し合いました。友達を考えを聞いて、修正したり理解が深まったりする様子が見られ、とてもよい雰囲気での学習でした。

さらに家庭学習によって理解を定着させることが大切だと思います。